

特集

予算審査 令和7年度予算可決！

令和7年度予算とその関連議案については、議長を除く全議員で構成される予算特別委員会（委員長：村上隆一／副委員長：福原謙二）を設置し、3月10日から13日の4日間にわたって審査を行いました。

審査の結果は、3月19日の本会議で報告し、討論、採決の結果、付託を受けた議案すべてを原案のとおり可決しました。

令和7年度予算 （※1万円未満四捨五入）

一般会計	675億円
特別会計(8会計)	336億3,915万円
企業会計(3会計)	264億8,263万円
総 額	1,276億2,178万円

予算審査

予算全般

問 過去最高の予算額675億円で、市の財政状況は。

答 ここ数年の諸物価の高騰や人件費の上昇などを経費へ適切に転嫁反映していく必要がある関係で、予算規模が増加傾向にはあるものの、引き続き、財政健全化の取組を継続することで、持続可能な行財政運営を実現していきたい。

一般会計
歳入

歳 入

問 固定資産税が前年度と比較して約1.1億円の増加を見込んでいるのは。

答 新增築家屋による増収並びにアフターコロナによる設備投資の増加による償却資産の増収を見込んでいる。

一般会計
歳出

防 災

問 防災ラジオの地区ごとの設置世帯数及び普及率は。

答 旧尾道地区は1万2,170世帯で普及率は31.1%、因島地区は6,529世帯で56.9%、御調地区は1,943世帯で66.4%、向島地区は2,235世帯で35.2%、瀬戸田地区は2,471世帯で60.1%である。

一般会計
歳出

子育て

問 子育て支援施設ICT化推進事業で、新たに構築する子育て支援サブサイトの概要、事業費、運用開始日は。

答 新たに子育て関係のサイトを設け、視認性の高いイラスト等を使いながら、サブサイトには、子育てに関係する全ての情報を一元管理していく。事業費は、全額一般財源による130万円の予算を計上しており、令和7年の秋頃を運用開始予定としている。

一般会計
歳出

福 祉

問 尾道市手話言語条例案と尾道市情報コミュニケーション条例案には、当事者の意見が反映されているのか。

答 本条例案の前文は、当事者の方にとって大きな意味を持っており、その内容について当事者と協議を重ねたうえでの条例案となっている。

一般会計
歳出

衛生

問 産後ケア事業の追加事業の概要は。

答 訪問型又は日帰りで短時間の設定で利用できる事業と、尾道ふれあいの里で5月中旬から7月中旬の試行的期間に利用できる事業である。

一般会計
歳出

産業

問 漁港建設費減額の要因は。

答 海老漁港の整備工事が令和6年度で終了することが主な要因であるが、遊休農地再生支援事業や干汐漁港活用推進計画策定事業を新規に取り組むことにしている。

問 しまなみジャパンへの負担金補助及び交付金の概要は。

答 しまなみジャパンから、レンタサイクルターミナルにするための内装改修費に7千万円かかると聞いている。負担金の735万円は、人件費や事務費等しまなみジャパンを運営するための費用である。

一般会計
歳出

まちづくり

問 空家等対策事業の緊急安全措置の対応は。

答 市道や公共施設に危険を及ぼす可能性が非常に高い場合に、危険個所の一部撤去や瓦等の落下防止を行う。

一般会計
歳出

消防

問 通信指令システム全面更新の内容は。

答 消防車両に取り付けられたAVM車両運用システムについて、通信指令室との通信に使用しているFOMA（フォーマ）3G回線が令和8年3月31日にサービスを終了することから、4G回線サービスに対応したシステムに更新するもの、また、消防指令システム更新調達支援等業務実施設計については、令和9年度までの間で指令台を全面更新するために、新年度実施設計する。

一般会計
歳出

教育

問 尾道みなと小中学校整備事業の新年度の工事予定と金額及び総事業費は。

答 具体的な工事内容は入札後に打合せをしていくが、解体工事は含まれていない。事業費については、全体事業費の1割程度を予算計上している。総事業費は基本設計時に縮減したが、昨今の急激な物価上昇からの建築費の増額により、68億円程度を見込んでいる。

国民健康保険事業特別会計

問 国民健康保険条例の改正の概要は。

答 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い令和7年度の保険料について、賦課限度額の引き上げと軽減措置を拡充するものである。

駐車場事業特別会計

問 市営駐車場設置及び管理条例の改正の内容は。

答 ベルポール駐車場の20分毎に70円、上限2,510円を30分100円とし、上限額を2,000円とするものであり、港湾駐車場と合わせた料金体系となっている。因島の中央長崎駐車場については、従来は店舗と事務所に分けていたが、テナント区画という表現にすることでより広範なニーズに対応できるようにしている。

夜間救急診療所事業特別会計

問 患者数はどのような傾向にあるのか。

答 令和5年度では2,170人、令和6年度では見込みであるが2,230人、令和7年度は2,280人で予算計上している。

介護保険事業特別会計

問 保険料収入と保険給付費が増加している理由は。

答 保険料収入については、各所得層の所得が増えたことにより保険料の段階が上がったことも一因かと考えている。給付費の増加については、認定者数もサービス利用もほぼ横ばいで推移しているが9期の介護保険事業計画で若干の増加傾向と推計しているため7年度の給付費が増加している。

後期高齢者医療事業特別会計

問 歳入の保険料予算が前年度と比較して増加している理由は。

答 保険料は広域連合の通知に基づくもので、要因としては被保険者が増員しているためと考えている。

水道事業会計

問 全国的に水道管の大規模改修等の影響で大幅な水道料金の値上げがなされるとの話を聞くが、尾道市でそのような事態になることはないか。

答 水道使用料については平成9年に改定してから現在まで改定していない。令和8年度までの上下水道事業計画を立てており、その中の経営審議会からも現状では使用料の値上げの必要はないと答申されている。

下水道事業会計

問 企業債の推移の傾向とその理由は。

答 令和6年度から増加傾向にあるのは浄化センター再構築工事が始まったためである。

病院事業会計

問 経営基盤強化の留保資金確保のため基準外繰入れをするとのことだが病院事業に必要な留保資金はどの程度なのか。

答 今後2か年分の建物改修や医療機器の購入といった投資が可能になる8億円から9億円程度を留保資金として確保していきたいと考えている。計画的な設備投資や建物の改修ができないと地域医療を守る、あるいは患者への医療提供といったことに支障を及ぼしかねない。